

# 令和4年度 事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

社会福祉法人

多可町社会福祉協議会

## 令和4年度 事業報告

令和4年度は、「第4次地域福祉推進計画（あったかささえあいプラン）」（令和3年度～令和7年度）の2年目であり、基本目標「みんなが安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け4つの推進目標と5つの活動目標を設定し、これを基に福祉活動を展開いたしました。4つの推進目標の内「きづく」「つながる」「ささえあう」の3点を重点活動と定め、その重要性をさらに地域へ広げるため、活動目標である5つの「ほっとけない」に取り組みました。

地域の中での課題や困りごとに気づき解決していくことを目的に、ふくし防災マップ（宝物マップ）づくりや集落でのアンケート調査などの支援を行い、住民相互の見守り・支え合いをするための話し合いの場の推進に努めました。

なお、課題解決に向けた研修会も開催し集落の活性化に繋げました。

また、コロナ禍で閉じこもりがちにならないよう、地域でのふれあいきいきサロンの開催に向け、感染症とその対策やチェックポイントについての研修会を行い、それぞれの集落に合った感染対策をしながら、多くのサロンが再開に向け動き始めました。

その他、生活困窮者の支援として、地域住民の方に家庭にある食品を提供いただき生活に困られている世帯に提供する生活支援フードドライブ事業や、物価高騰の影響が長期化する中で生活支援の一助として、全世帯に指定収集袋（ごみ袋）の配布を行いました。

介護事業においては、利用者個々のニーズに柔軟に対応し、多様化するケースにも地域住民や関係機関と連携を図ることで、在宅生活を支援することができました。

以下、令和4年度の各事業等について報告します。

## 基本目標 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

多可町社会福祉協議会では、地域福祉の推進を住民のみなさんと一緒に進めるため、基本目標を「みんなが安心して暮らせるまちづくり」と掲げています。

## 推進目標

基本目標を実現するために、4つの推進目標を設定しています。

- 【1】 きづく（重点活動）
- 【2】 つながる（重点活動）
- 【3】 ささえあう（重点活動）
- 【4】 ささえる

## 活動目標

基本目標と推進目標を進めるため、下記の活動目標を設定しています。これを基に福祉活動を展開しています。

- 【活動目標1】 地域づくりをほっとけない！できる助け合いが健康長寿への道
- 【活動目標2】 通院、買い物などの移動に困っている人をほっとけない！
- 【活動目標3】 できないことをほっとけない！  
社会福祉法人や商工会、ボランティア団体などとの連携を図ります
- 【活動目標4】 知らない人をほっとけない！関わりの薄い層への啓発
- 【活動目標5】 ほっとけない！の積み重ね。住民から信頼される職員と組織づくり

## ■福祉学習の推進（推進目標1／きづく）**重点**

福祉に関心を持ってもらい、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、ボランティアや当事者などの協力を得ながら地域や学校で福祉学習を行いました。

また、町内の学校・認定こども園・キッズランド等の福祉学習事業に対して助成を行いました。

《学校での福祉学習の開催》

	小学校	特別支援学校	高等学校
今年度実施回数	5校 39回	1回	1回
前年度実施回数	5校 38回	2回	0回

実施団体	実施回数	内容
中町北小学校	8回	ボランティア学習、高齢者疑似体験、車いす体験、手話体験、点字体験、アイマスク体験、朗読体験、サウンドテーブルテニス体験、認知症サポーター養成講座
中町南小学校	10回	
杉原谷小学校	9回	
松井小学校	6回	
八千代小学校	6回	
北はりま特別支援学校	1回	アイマスク・車いす体験
多可高等学校	1回	点字体験

《学校・認定こども園・キッズランド等への助成》

	助成団体数	助成額
今年度助成実績	13団体	635,000円
前年度助成実績	13団体	635,000円

助成団体	助成額	内容
北はりま特別支援学校	35,000円	プランター寄贈交流
多可高等学校	50,000円	福祉学習、ボランティア活動、多可高ちいきふれあいプロジェクト
中町北小学校	50,000円	福祉学習、北はりま特別支援学校との交流
中町南小学校	50,000円	福祉学習、福祉学習のまとめ
あさかこども園	50,000円	祖父母参観と交流
杉原谷小学校	50,000円	福祉学習
松井小学校	50,000円	福祉学習
キッズランドかみ	50,000円	さつまいもの苗植え、焼き芋、運動会
八千代中学校	50,000円	地域向けコンサート
八千代小学校	50,000円	福祉学習

キッズランドやちよ	50,000 円	さつまいも栽培、収穫祭、運動会、とんど
ちびっこランドらくえん	50,000 円	野菜等栽培、地域の人との交流、高齢者との交流
子育てふれあいセンター	50,000 円	第3回たかっこフェスタ、ふれあい交流会、「秋の収穫まつり」
	635,000 円	

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■生活支援体制整備事業

(推進目標1／きづく、推進目標2／つながる、推進目標3／ささえあう) **重点**

生活の中での課題や困りごとについて住民相互の支え合いの中から解決していくことを目的として、集落での「ふくし防災マップ(宝物マップ)」づくりやアンケート調査の支援をきっかけに、集落における話し合いの場の設置を推進しました。

また、集落における活動を始めるための研修会(基礎編)や、活動している集落が抱える課題に対して、その解決に向けた取り組みを具現化するための研修会(応用編)を開催するとともに、集落における助け合いの必要性をまとめた「つながる“わ”」を社協だより多可に毎月掲載、「つながる“わ”」の特別号を2ヶ月に1回作成し、地域づくりを促進しました。

《具体的な活動や定期的な話し合いの場を開催する集落》

	集落数	校区名	集落名
今年度	15集落	中町北小	門前、安楽田、鍛冶屋、天田
		中町南小	曾我井、中安田
		杉原谷小	西山、市原、丹治
		松井小	豊部、熊野部、的場、寺内、西脇
		八千代小	中三原
前年度	14集落	中町北小	門前、天田
		中町南小	曾我井、中安田
		杉原谷小	西山、市原、丹治
		松井小	豊部、熊野部、的場、寺内、西脇
		八千代小	赤坂、中三原

《集落等での活動の実施》

	今年度	前年度
実施回数	39回	17回

実施集落等	実施回数	支援内容
中町北小学校区	門前	1回 ふくし防災マップづくりの更新
	安楽田	1回 車いす体験
	鍛冶屋	1回 アンケート調査
中町南小学校区	奥中	1回 防災に関する話し合いの事前打ち合わせ会
	曾我井	1回 ふくし防災マップづくり
	中安田	3回 ふくし防災マップづくり、アンケート調査
杉原谷小学校区	西山	2回 ふくし防災マップづくり
	丹治	1回 アンケート調査
松井小学校区	豊部	1回 ふくし防災マップづくり
	熊野部	1回 ふくし防災マップづくり
	的場	1回 的場支え合う会新役員会
	寺内	10回 今後の助け合いの仕組みづくりについての話し合いやボランティア向けの説明会
	西脇	3回 民生委員・民生協力委員の情報交換会
	小学校区	1回 松井小学校区生活支援団体（3団体参加）の情報交換会
八千代小学校区	中三原	3回 中三原の生活を考える会（仮称）
	小学校区	1回 ちょいボラグループやちよお助け隊のスタッフ会議
地域共生研修会	5回	区長会で小学校区ごとに開催された地域共生研修会
ケアマネ連絡会	1回	ケアマネ連絡会で生活支援体制整備事業の説明
生活支援団体	1回	生活支援団体（3団体参加）の情報交換会

《研修会の開催》

	開催日	参加者数	開催場所
地域づくり（基礎編）	8月21日	延期	八千代コミュニティプラザ
地域づくり（基礎編）	11月20日	37名	八千代コミュニティプラザ
地域づくり（応用編）	5月28日	44名	八千代コミュニティプラザ
地域づくり（応用編）	1月21日	36名	アスパル

財源	町受託金
----	------

## ■生きがい活動支援通所事業の実施（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町からの受託事業として、在宅で生活しているおおむね65歳以上の高齢者が家に閉じこもりがちにならないよう、集落の公民館等で地域介護予防講座やあったか講話を開催し、「いきいき百歳体操」の普及啓発等を行うことによって、心身機能の維持向上や閉じこもりの防止に努めました。

また、あったか講話で多可町の公共交通機関（バス、タクシー）の話やみみより情報として、身近なところでできるボランティア活動の紹介など介護予防や健康を維持することに努めました。

開催場所	集落公民館等
------	--------

### 《地域介護予防講座》

今年度実施回数	100回（中区 31回、加美区 43回、八千代区 26回）
前年度実施回数	59回（中区 22回、加美区 33回、八千代区 4回）
今年度参加者数	1,527名（中区 536名、加美区 669名、八千代区 322名）
前年度参加者数	938名（中区 376名、加美区 515名、八千代区 47名）

### 《あったか講話》新規

今年度実施回数	48回（中区 16回、加美区 18回、八千代区 14回）
今年度参加者数	751名（中区 279名、加美区 283名、八千代区 189名）

財源	町受託金
----	------

## ■特別支援学校への支援（推進目標1／きづく）

障がいや特別支援学校を地域の人に理解してもらうため、学校行事の際にボランティアの派遣をしました。近年は新型コロナウイルス感染予防のため、開催や派遣ができていませんでしたが、今年度は選択授業の中で交流会を実施しました。

内容	開催日	派遣者数
高等部「ふれんどたいむ」での囲碁ボール	2月15日	2名

## ■社協だより多可、たかテレビ等による情報発信（推進目標1／きづく）重点

社協だより多可、ホームページは、「見やすく」「分かりやすく」、タイムリーな情報提供ができるよう工夫しています。また、Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）も利用し情報がより多くの住民に届くよう努めました。

さらに、たかテレビの『あっ！たかインフォ』などを活用し、社協活動を積極的にPRしました。

媒体	今年度発信回数	前年度発信回数
社協だより多可	12回	12回
社協ホームページ	66回	39回
Facebook、Twitter	319回	199回
たかテレビ「あっ！たかインフォ」	10回	11回

《たかテレビ「あっ！たかインフォ」で放送したもの》

- ・朗読ボランティア体験会
- ・社協会費
- ・赤い羽根共同募金
- ・福祉機器・福祉車両貸出事業
- ・ボランティア募集
- ・社協ガイド
- ・地域づくり研修会（応用編）
- ・歳末たすけあい募金
- ・生活支援体制整備事業
- ・地域福祉活動助成事業

財源	社協会費、介護保険事業繰入、善意銀行
----	--------------------

### ■社協ガイドの作成（推進目標1／きづく）

社協活動や事業を地域の方に理解してもらうために社協ガイドを作成し、全戸配布しました。あつたかインフォでも5月に放送し啓発しました。

財源	社協会費
----	------

### ■介護者だよりの発行（推進目標1／きづく）

介護に役立つ情報や介護者の会の活動をお知らせするために「介護者だより」を毎月発行し、町内の介護者に配布しました。

《介護に役立つ情報（介護のポイント）に掲載したもの》

- ・多可町介護者の会報告
- ・家族会
- ・多可町介護者の会案内
- ・夏の快適な過ごし方
- ・介護技術講習
- ・非常用持ち出し袋
- ・多可町版イイミミ募集
- ・車いす介助方法
- ・介護者へのメッセージ
- ・福祉車両貸出事業
- ・認知症サポーター養成講座

財源	赤い羽根共同募金
----	----------

### ■社協まつりの開催（推進目標1／きづく、活動目標2／つながる）

福祉についての理解と関心を高め、地域の支え合い・助け合い、福祉のまちづくりについて考える機会とするため、地域住民や各種団体・関係機関等と連携し開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、主な内容を玉木幸則さんの講演「生まれてきて良かった～誰一人取り残されないまちづくり～」とし、講演会後にはベルディーホール会議室において町内の障害者事業所や商工会商業部会等による物販コーナーを開設しました。

開催日	7月24日（日）
開催場所	ベルディーホール

来場者数	211名
------	------

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------



## ■バス乗車体験会の開催（推進目標 1 / きづく）

通院や買い物の移動手段として、バスの乗車体験会を開催しました。6月は杉原谷小学校区と八千代小学校区の一部の集落を対象として、12月は全ての集落を対象に中區で買い物や昼食をする内容で実施しました。

今年度		前年度
開催日	参加者	参加者
6月27日、29日	14名	22名
12月5日、14日	52人	中止

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金、参加費
----	---------------------------

## ■各種ボランティア養成講座、研修会等の開催（活動目標 1 / きづく） **重点**

ボランティアの育成やスキルアップ、またボランティア相互の交流を図るために、各種講座や研修会、交流会を開催しました。講座等ではアンケートなどを実施し、ボランティア依頼や次回講座のための参考にしました。

30～40代の若い世代がボランティア活動に関わるとともに、将来のボランティア活動者を育成するため、夏休みに「親子で調理！ボランティア体験」を実施し、子ども10名、その保護者8名、計18名の参加を得ました。結果、調理ボランティアグループが1つ立ち上がり、また、老人クラブ若手委員、理事を対象にボランティア体験会を実施し、新たなボランティア活動者が増えました。

今年度開催回数／延べ参加人数	10種 24回 延べ 125名参加
前年度開催回数／延べ参加人数	7種 19回 延べ 108名参加

内容	開催日	延べ参加者数	開催場所
点訳ボランティア養成講座	6月18日～ 12月3日 全12回	12名	播磨内陸生活文化総合センター（ドウジウム）
介助ボランティア養成講座 （車いす介助）	12月13日	6名	社協本部
介助ボランティア養成講座 （ガイドヘルプ）	7月19日	7名	社協本部
ボランティア交通安全教室	11月22日	10名	八千代コミュニティプラザ
ボランティア研修会	2月17日	43名	八千代コミュニティプラザ
夏休みボランティア体験 （親子で調理！ ボランティア体験）	8月2日	18名	中コミュニティプラザ
リスナーとボランティアのつどい	10月25日	12名	市原交流会館
朗読ボランティア養成講座 （朗読ボランティア体験会）	9月5日	4名	社協本部

介護予防サポーター養成講座	12月2日	8名	社協本部
【新】ボランティア体験	9月7日、 19日、28日、 11月15日	5名	各区

財源	県社協補助金、県社協受託金、介護保険事業繰入、善意銀行、参加費
----	---------------------------------

■ボランティアに関する相談・コーディネート・支援  
(活動目標1/きづく、活動目標3/ささえあう)

ボランティアセンターにおいて、活動に関する相談の受付、調整、支援を行っています。

活動内容	今年度 事業名(依頼先)	今年度 派遣 回数	今年度 延べ 派遣 人数	前年度 派遣 回数	前年度 延べ 派遣 人数
調理・配送・回収	ふれあい型給食サービス	94回	966名	19回	364名
交流	障がい者の事業所と ボランティアの交流、 障害者とボランティアの つどい	26回	95名	15回	15名
訪問	地域見守り訪問	49回	117名	18回	38名
介助	青い鳥学級	1回	2名	1回	3名
託児	健康課、生涯学習課、定住 推進課、子育てふれあい	12回	33名	7回	14名
運転	外出支援サービス	164回	164名	251回	251名
運転・介助	買い物ツアー、 介護予防教室	139回	252名	84回	180名
傾聴	在宅	27回	54名	0回	0名
音訳	朗読CD・テープの貸出	48回	228名	48回	302名
レクリエーション	サロン、つばめ会	5回	22名	0回	0名
行事手伝い	社協まつり	1回	2名	2回	4名
補助	学校向け福祉学習、 元気あっぷ広場	43回	86名	37回	71名
合計		609回	2,031名	482回	1,242名

## ■ふれあいいきいきサロン活動の支援

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **重点**

地域住民が気軽に集まり、つながりと生きがいを持ちながらお互いに助け合い、誰もが地域でいきいきと安心して暮らせることを目指し、サロンスタッフ研修会の開催、レクリエーション遊具の貸出、活動経費の一部助成、サロンに関する各種相談など、サロンへの支援を行い、多くの地域でサロンが開催されるよう努めています。特に、開放型サロンや集落に合った見守りが期待できるようなサロン開設に向けて啓発を行いました。

今年度よりサロンスタッフのためのサロン(スタッフサロン)の対象を拡大し、ふれあいいきいきサロンスタッフだけでなく、地域の中で住民の集う場を開催しているグループのスタッフも参加できるよう変更し、各回主題となるテーマを設定することにより、今まで以上に活発な意見交換ができるよう開催しました。

内容	開催日/回数	参加者数	開催場所
サロンスタッフ研修会	4月16日/1回	33名	八千代コミュニティプラザ
スタッフサロン	6月22日	8名	社協本部
	10月26日	10名	加美コミュニティプラザ
	2月22日	6名	八千代コミュニティプラザ

	サロン数	実施回数	活動助成件数
今年度実績	40地区	277回	40件
前年度実績	33地区	130回	33件

財源	社協会費
----	------

## ■あったかわくわくスタッフ支援事業の開催

(推進目標1/きづく、推進目標2/つながる) **重点**

集落でのつどいの場を広げていくことを目的として、ふれあいいきいきサロンのスタッフ、コークゼミ修了生等、小規模な集まりを企画、実施する立場にある方を対象に、高齢者向けのレクリエーションについて学ぶための研修会を開催しました。

参加者の中には、ふれあいいきいきサロンのスタッフサロンにも興味を持たれ、参加したいという声がありました。スタッフ同士の交流が活発になり、よりつどいの場が広がるように支援しました。

	開催日	参加者数	開催場所
今年度実績	9月17	20名	社協本部
前年度実績	11月20日	22名	社協本部

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■障がい者の事業所とボランティアの交流

(推進目標 1 / きづく、推進目標 2 / つながる)

交流を通して、障がいや事業所への理解を地域に深めています。町内9つの事業所や多可町作業所連絡会を対象に助成しました。

	今年度 助成額	今年度 実施回数	前年度 助成額	前年度 実施回数
一般社団法人S-CUBE	60,000円	10回	60,000円	10回
NPO法人みどり会	30,000円	6回	30,000円	2回
NPO法人やちよ	38,688円	7回	22,408円	2回
多可町作業所連絡会	100,000円	1回	0円	0回

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■ハートフルツアーの開催 (推進目標 1 / きづく、推進目標 2 / つながる)

身体・知的・精神障がい者を対象に、社会参加や親睦・交流を図ることを目的として宝塚大劇場へ行きました。3年ぶりに開催でき、日ごろできないような経験をしていただけました。

開催日	1月19日 (木)
参加者数	18名

財源	歳末たすけあい募金配分金、参加費
----	------------------

## ■子育て支援活動助成事業の実施 (推進目標 2 / つながる)

子育てふれあいセンターが実施する子育て親子の交流事業が充実することを目的として、100,000円の助成を行いました。

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

## ■子育て応援クリスマスプレゼント事業の実施 (推進目標 3 / ささえあう)

多可町の提唱する「子育てするなら多可町」を推し進め、子育て世帯のリフレッシュを目的に、新生児の生まれた世帯に対しクリスマスプレゼントを配布しました。

	配布世帯
今年度実績	56世帯
前年度実績	57世帯

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

## ■視覚障がい者への支援（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

視覚障がい者の情報保障として、社協だより多可、広報たか、議会だよりなどを音訳CD・テープへ吹き込み、視覚障がいのある希望者へ毎月届けました。また、多可町図書館にも貸出用として設置し、希望者への貸出を行いました。

音訳物を聞いているリスナーと朗読ボランティアの交流会を年1回実施し、音訳内容についてのリスナーの要望を確認することで、よりリスナーの希望する情報を提供できるよう活動しました。

	利用者数	延べ発送件数
今年度実績	12名	124件
前年度実績	12名	127件

## ■障がい者スポーツ大会の開催（推進目標1／きづく、推進目標2／つながる）

町からの受託事業として、身体・知的・精神障がい者が、お互いの交流と親睦を深め、障がい者の社会参加意欲の高揚と体力の維持増進を図ることによって、障がい者の自立更生に寄与するとともに、スポーツを通じ住民の障がい者に対する理解と認識を深め、ともに生きる地域社会づくりを目指すことを目的として開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

開催予定日	10月22日（土）中止
開催予定場所	アスパル

## ■福祉団体の事務および活動支援（推進目標2／つながる）

老人クラブ連合会や身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、遺族会、ボランティア連絡会、介護者の会の事務局として、各種団体の運営・活動支援を行いました。

## ■地域見守り訪問事業の推進（推進目標1／きづく、推進目標3／ささえあう）

敬老の日発祥の町多可町として敬老の精神を広めるために、80歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアや地域福祉推進委員が誕生月に訪問し、健康と長寿のお祝いに花を届けました。また、必要に応じて、日常生活の中での不安や困りごとなどを聞き取り、適切なサービスや関係機関につなげました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度訪問者数	147名	67名	56名	270名
前年度訪問者数	133名	58名	52名	243名

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■地域福祉活動助成事業の推進（推進目標3／ささえあう）

町内の地域福祉の推進を図ることを目的とした団体・グループに助成を行うことで、住民主体の地域福祉活動の充実・活性化を図り、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めました。また、助成団体の活動内容を社協だより多可やかテレビなどで紹介し、活動の支援や周知を図りました。

	団体数	助成額
今年度実績数	7団体	260,000円
前年度実績数	5団体	200,000円

助成団体	助成額
いこいの家「紫陽花」	30,000円
ラベンダーパーク「さとやまの風」	30,000円
西脇点訳友の会	30,000円
多可町介護者の会	20,000円
子ども食堂ココメグキッチン	50,000円
ちよいボラグループ やちよお助け隊	50,000円
たか手話サークル	50,000円

財源	赤い羽根共同募金配分金
----	-------------

## ■福祉機器貸出事業の実施（推進目標4／ささえる）

在宅で介護を要する人を対象に、福祉機器を無料で貸し出し、在宅での療養生活の利便を図りました。要介護者や身体障がい者の方については、介護保険サービス、日常生活用具給付事業及び補装具費支給事業を優先します。

貸出品名	介護用ベッド	車いす・スロープ
貸出最長期間	3ヶ月間	6ヶ月間

	介護用ベッド	車いす	スロープ
今年度貸出件数	1件	103件	15件
前年度貸出件数	0件	84件	4件

財源	社協会費
----	------

## ■福祉車両貸出事業の実施（推進目標4／ささえる）

車いすやストレッチャーを使用しないと外出できず、かつ家庭において運転ができる家族がある人を対象に、福祉車を貸し出し、医療・保健・福祉等の利用の便を図りました。

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	11名	21名	10名	42名
前年度登録者数	13名	8名	9名	30名
今年度利用件数（町内）	15件	43件	31件	89件
前年度利用件数（町内）	42件	34件	9件	85件
今年度利用件数（町外）	35件	49件	24件	108件
前年度利用件数（町外）	17件	30件	10件	57件

※実績値について、昨年度は受け付けた支部、貸し出した支部にて計上しましたが、今年度は利用者の住所地にて計上しました。

財源	社協会費
----	------

## ■ふれあい型給食サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

調理が困難で見守りが必要なおおむね65歳以上の高齢者のみの世帯等を対象に、ボランティアが調理した給食を届けました。地域包括支援センターや民生委員児童委員などと連携を図るとともに、見守りシートの回収を通して、利用者の健康状態や不安の把握など見守り活動を促進しました。

見守りシート回収のボランティア活動をより身近な方が活動することで、些細な変化に気づくことができるよう目指しています。

	中区	加美区	八千代区
調理場所	中プラザ	交流会館	八千代プラザ
実施日	毎週木曜日		
利用料／食	200円		
今年度実施回数	47回		
前年度実施回数	48回		

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度登録者数	51名	29名	23名	103名
前年度登録者数	54名	22名	24名	100名
今年度配食数	1,614食	955食	968食	3,537食
前年度配食数	1,618食	781食	750食	3,149食
今年度平均配食数	34.3食/回	20.3食/回	20.6食/回	75.2食/回
前年度平均配食数	33.7食/回	16.3食/回	15.6食/回	65.6食/回
今年度調理ボランティア数	84名	75名	91名	250名
前年度調理ボランティア数	45名	33名	44名	122名

今年度配送・回収ボランティア数	169名	178名	369名	716名
前年度配送・回収ボランティア数	54名	71名	117名	242名

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金、利用料
----	---------------------------

### ■買い物ツアー事業の実施（推進目標4／ささえる）

外出しにくい、おおむね75歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、区ごとに毎月1回、町内での買い物のための送迎と介助を行いました。

今年度は登録者への対面による聞き取りアンケートを実施しました。その結果、買い物ツアー実施回数の増加を望む声が大きかったことから、令和5年度からは月2回実施します。

	中区	加美区	八千代区
実施日	毎月第3火・水曜日	毎月第4火・水曜日	毎月第2火・水曜日

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度実施回数	23回	21回	23回	67回
前年度実施回数	14回	11回	14回	39回
今年度登録者数	13名	15名	8名	36名
前年度登録者数	10名	15名	11名	36名
今年度利用者数	59名	99名	52名	210名
前年度利用者数	40名	40名	47名	127名
今年度ボランティア数	46名	64名	46名	156名
前年度ボランティア数	27名	34名	30名	91名

財源	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金
----	-----------------------

### ■無料法律相談の実施（推進目標4／ささえる）

年12回、弁護士による無料法律相談を開催しました。また、年3回、町内有識者の協力を得て、家事関係の悩み相談を開催しました。

	無料法律相談	調停等手続き相談
開設月	毎月第4火曜日	7月、11月、3月（第1木曜日）
開設時間	午後1時～3時（1人30分）	午前10時～12時（1人30分）
開設場所	社協本部	社協本部

	無料法律相談	家事関係の悩み相談
今年度利用者数	26名	2名
前年度利用者数	37名	2名

財源	善意銀行、歳末たすけあい募金配分金
----	-------------------



## ■外出支援サービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

町からの受託事業として、おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯で、家族に車の運転できる人がなく、一般の交通機関を利用することが困難な人や下肢が不自由な人、視覚障がい者を対象に、医療機関等への送迎サービスを行い、在宅福祉の向上を図りました。

	中区	加美区	八千代区	視覚障がい者	合計
今年度登録者数	11名	7名	5名	4名	27名
前年度登録者数	13名	10名	5名	5名	33名

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用件数（町内）	94件	30件	22件	146件
前年度利用件数（町内）	142件	38件	46件	226件
今年度利用件数（町外）	411件	142件	12件	565件
前年度利用件数（町外）	395件	191件	32件	618件

財源	町受託金、日赤受託金、利用料
----	----------------

## ■資金貸付事業の実施（推進目標4／ささえる）

生活問題を抱える世帯への援助として資金を貸し付け、世帯の生活の安定と向上を図りました。生活福祉資金は県社協の受託事業として、また、法外援護資金は多可町社協独自の貸付事業として実施し、民生委員児童委員と連携しながら実施しました。

生活福祉資金では、令和2年3月25日より新型コロナウイルス特例貸付が追加され、実施してきましたが、令和4年9月30日をもって終了しました。

### 《生活福祉資金・法外援護資金共通》

今年度相談件数	239件
前年度相談件数	948件

### 《生活福祉資金》

	通常貸付	新型コロナウイルス特例貸付
今年度貸付決定件数／合計貸付件数	2件／23件	10件／209件
今年償還完了数	1件	3件、免除97件
前年度貸付決定件数／合計貸付件数	5件／21件	84件／198件
今年償還完了数	2件	0件

財源	県社協補助金、県社協受託金
----	---------------

《法外援護資金》

今年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／5件
今年度償還完了数	1件
前年度貸付決定件数／合計貸付件数	0件／5件
前年度償還完了	0件

財源	償還金、善意銀行
----	----------

■一時的食糧等給付事業（推進目標4／ささえる）

今年度の利用はありませんでしたが、一時的に経済的困窮に陥った生活困窮者への支援として食糧等の生活に必要な物資の給付を行い、その世帯の自立を促し円滑な社会生活が送れるよう支援します。多可町社協独自の事業として、民生委員児童委員と連携しながら実施していきます。

	今年度	前年度
相談件数	0件	37件
利用件数	0件	3件
給付金額	0円	17,817円

財源	善意銀行
----	------

■生活支援フードドライブ事業（推進目標4／ささえる）**新規**

家庭などにある食品を集め、経済的に困っている世帯に対して食品の提供を行い支援しました。住民の方々、町内の事業所と役場生活安全課から食品提供を受け、延べ136世帯に配布しました。本事業を利用する世帯は経済的に困窮している世帯であるため、利用者の同意を得ることのできた世帯については、フードドライブ事業時に担当民生委員と情報共有を行いました。

経済的に困っている世帯の支援と食品ロスの削減にも繋がるなるフードドライブを、地域の方々に知っていただく機会にもなりました。

	給付者数	食品提供者数
1回目（5～6月）	19世帯31名	9名
社協まつり開催時に寄付を受けた食品の配布（9月～11月分）	4世帯7名	1社
2回目（11～12月）	54世帯112名	17名
3回目（2月）	59世帯128名	役場生活安全課から寄贈

財源	善意銀行
----	------

## ■物価高騰生活支援事業（推進目標4／ささえる）**新規**

多可町の各世帯に対し、物価高騰に対する支援として指定収集袋（容器包装プラ・ペットボトル兼用 中1個）を6,261世帯に配布しました。

財源	赤い羽根共同募金配分金、歳末たすけあい募金、善意銀行
----	----------------------------

## ■日常生活自立支援事業の推進（推進目標4／ささえる）

県社協からの受託事業として、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない人を対象に、住み慣れた地域で安心して自立生活が送れるよう、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などの援助を行いました。事業が地域により浸透するよう、サービス内容の周知にも努めました。

安定して継続した事業実施を行うため、兵庫県社会福祉協議会が標準利用料金を今年度より1,400円に変更したため、多可町社会福祉協議会の利用料も合わせて変更しました。

また、行政担当課との制度に関する情報共有を行い、後見制度との連携を進めました。

利用料／時間	1,400円（交通費は実費負担）
--------	------------------

	今年度	前年度
相談件数	118件	249件
契約者数	4名	4名
解約者数	1名	2名
派遣回数	64回	117回

財源	県社協受託金、利用料
----	------------

## ■ふとん丸洗いサービス事業の実施（推進目標4／ささえる）

布団が干しづらく、在宅で生活されている75歳以上の高齢者のみの世帯の要介護認定「要介護1～4」の方、要介護認定「要介護5」の方、身体障害者福祉手帳「1級」の方、家族介護用品給付事業で「おむつ」を申請されている方を対象に、利用者が使用している布団の丸洗いを行い、快適で衛生的な生活を支援しました。

利用者一人につき掛布団・敷布団・掛毛布・敷毛布をそれぞれ1枚ずつ、補助は1人7,000円までとし、超えた額は個人負担として行いました。

	回収日	返却日
実施日	5月31日（火）、6月1日（水）	6月14日（火）、15日（水）

	中区	加美区	八千代区	合計
今年度利用者数	9名	6名	5名	20名
前年度利用者数	20名	7名	8名	35名
今年度平均利用額	—	—	—	5,122円
前年度平均利用額	—	—	—	6,072円

財源	社協会費
----	------

## ■歳末慰問事業（推進目標4／ささえる）

歳末たすけあい募金を行い、要援護世帯や認知症の方など、新たな年を迎える時期に支援を必要とする方に慰問金を贈りました。民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施しました。

### 《個人慰問》

		中区	加美区	八千代区	配分額
A	生保受給世帯	18世帯	8世帯	2世帯	140,000円
B	準生保世帯	12世帯	11世帯	13世帯	218,000円
C	高齢者独居	51世帯	43世帯	31世帯	625,000円
D	高齢者世帯	10世帯	4世帯	7世帯	105,000円
E	母子世帯	12世帯	6世帯	3世帯	105,000円
F	父子世帯	1世帯	0世帯	1世帯	10,000円
G	寝たきり（在宅）	2世帯	0世帯	0世帯	10,000円
H	重度障がい者（在宅）	6世帯	3世帯	2世帯	55,000円
I	認知症（在宅）	2世帯	2世帯	0世帯	20,000円
合計		114世帯	77世帯	59世帯	1,288,000円

### 《施設慰問》

施設名		配分額
NPO法人	あきら多可	50,000円
	すまいる	50,000円
	c a m b i o	50,000円
	みどり会	50,000円
	ネクスト	50,000円
	やちよ	50,000円
	E s p o r t e	50,000円
合計		350,000円

財源	歳末たすけあい募金配分金
----	--------------

## ■児童安全対策事業（推進目標4／ささえる）

新小学一年生に安全対策としてヘルメットを寄贈しました。

寄贈数	今年度	前年度
	132名	113名

財源	善意銀行
----	------

■介護事業（推進目標4／ささえる）

事業所名	事業内容	今年度	前年度	
居宅介護支援事業 （ケアプラン）	ケアプラン件数	1,835件	1,999件	
	介護予防プラン件数	226件	184件	
	認定調査件数	106件	96件	
	実態把握件数	98件	61件	
	認知症相談センター相談件数	24件	17件	
	認知症初期集中支援チーム参加回数	12回	12回	
通所介護事業 （デイサービス）	稼働日数	309日	313日	
	延べ利用者数	要介護	6,467名	6,708名
		要支援等	621名	521名
	1日あたり利用者数	22.9名	23.1名	
	転倒予防教室	43回	23回	
生きがい活動支援通所事業	延べ利用者数	220名	123名	
毎日配食事業	延べ配食数／利用者数	228食/4名	162食/4名	
生きがい発揮事業（ふれあい事業）	延べ利用者数／回数	57名/3回	中止	
訪問介護事業 （ホームヘルパー）	訪問介護回数	要介護	8,083回	9,026回
		要支援	196回	85回
	訪問入浴回数	119回	126回	
	障害サービス回数	居宅	2,357回	2,004回
		移動	124回	149回
		同行（ガイド）	135回	145回
	軽度生活支援回数	98回	102回	
	養育支援回数	63回	182回	
【新規】産前産後ヘルパー派遣回数	83回			
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	入居率（入居者数／日）	8.4名	8.2名	
	グループホーム運営推進会議	6回	6回	

通所介護・訪問介護においては、利用者が減少傾向にあります。コロナの影響で他事業所からの利用者受け入れ、コロナ感染者宅への訪問など在宅生活を支援することができました。また、グループホームにおいては退去から入居の期間を短縮することで入居率を上げることができました。

## ■地域福祉推進委員会の機能強化（組織強化）

住民が主体となり、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域福祉推進委員会の開催を支援しました。地域福祉推進委員は、住民の代表で構成されています。

会議名	開催回数	内容
合同会議	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月13日 支部活動の報告、社協ガイドの説明。</li> <li>・ 6月27日 支部地域福祉推進センター設置規定の説明と委嘱状の交付。地域福祉の必要性と包括的支援体制づくりについての研修。第4次地域福祉推進計画の説明。</li> </ul>
中支部地域福祉推進委員会	5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月4日 障害者施設への取材と啓発方法の検討、合同会議での活動報告の検討。</li> <li>・ 8月3日 前任期の活動内容の説明、今後のテーマの検討。</li> <li>・ 11月4日 今後のテーマの決定、テーマに沿った今後の予定の検討。</li> <li>・ 2月8日 障害者施設への取材検討。知的・発達障害疑似体験（加美支部と合同）。</li> <li>・ 3月6日～15日 障害者施設への取材（3施設）</li> </ul>
加美支部地域福祉推進委員会	7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月4日、7月14日、8月30日、10月24日、11月30日、1月19日、3月22日 白妙菊の副読本作成について</li> </ul>
八千代支部地域福祉推進委員会	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月18日 移動の問題を解決するためにこれから取り組むべきこと、地域見守り訪問について</li> <li>・ 7月27日 今後取り組むテーマについて、地域見守り訪問について</li> <li>・ 10月26日、2月1日 高齢者の困りごとの聞き取りについて</li> </ul>

財源	社協会費
----	------

## ■災害救援マニュアルの推進（組織強化）

町内において地震、風水害その他の災害が発生した時に、災害救援活動を効果的、かつ円滑に実施できるよう改訂に向けて検討をしました。

また、9月4日に開催された兵庫県・播磨広域合同防災訓練に災害ボランティアセンター立ち上げの訓練として参加しました。

## ■地域福祉推進計画の策定（組織強化）

令和2年度に策定した第4次地域福祉推進計画に基づいて事業を実施し、地域住民や関係機関等への周知を図りました。

財源	社協会費
----	------

## ■職員会議の開催（組織強化）

定期的に職員会議を開催し、職員間での情報共有を図り、社協活動のスムーズな運営体制を築きました。

## ■職場内外研修会の実施と参加（組織強化）

職場内では、勉強会を実施し、職員の資質向上に努めました。

職場外では、新型コロナウイルス感染予防のため、各種ウェブ（Web）での会議や研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップと他市町とのネットワークづくりに努めました。

## ■関係機関との連携強化、情報共有（組織強化）**重点**

情報共有による効率的な事業展開を図るため、関係機関との連携強化、情報の発信と受信、定期的な連絡・調整会議を開催しました。多可町地域共生推進協議会、地域ケア会議やケース検討会などの専門機関会議へ参加しました。

## ■社協会員への協力依頼（組織強化）

一般会員・賛助会員・団体会員で組織された会員制度を広く周知し、会員加入の促進を図りました。

	今年度	前年度
一般会費	5,505,500円	5,517,000円
賛助会費	261,000円	285,000円
団体会費	80,000円	90,000円
合計	5,846,500円	5,892,000円

## ■財源確保と情報公開（組織強化）

多様性に富んだ福祉事業を展開するため、社協だより多可やチラシなどで会費・共同募金等の啓発活動を行いました。共同募金配分金や善意銀行預託金の有効活用の検討を行い、使途の明確化を図りました。受託事業については、事業に見合う適正な委託金を行政へ要望し、介護事業収入については、町全域への介護事業の展開により増収を図りました。

### ・善意銀行（組織強化）

	今年度	前年度
金銭預託件数／金額	109件/1,798,728円	102件/2,209,976円
物品預託件数／内容	1件/米30kg	3件/紙おむつ等 マスク、車いす

## ■理事会・評議員会等の開催と研修会の実施（組織強化）

- ・理事会 3回（6月7日、12月6日、3月16日）
- ・評議員会 3回（6月22日、12月15日、3月24日）
- ・正副会長会 4回（5月31日、9月26日、12月1日、3月10日）
- ・評議員選任・解任委員会 2回（6月8日、12月7日）

## ■その他

- ・「トライやる・ウィーク」の受け入れ・・・新型コロナウイルス感染予防のため受け入れなし。
- ・ソーシャルワーク（相談援助）実習生の受け入れ・・・神戸医療未来大学学生1名（8/15～9/16）
- ・社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット）設立に向けての調査・準備・・・多可町内社会福祉法人8法人 アンケート、意見交換会（9/28）、設立に向けての研修会（11/29）、設立に向けての準備会（1/16、3/2）
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策等の周知徹底
  - 職員対応  
全職員は、手洗い、うがいの励行、マスクの着用、出勤前に体温検測、出勤時に職員体温記録表に記載の徹底を行いました。
  - 介護事業課（各事業所）  
利用者及び入居者の体調の確認と管理を徹底し、毎朝の検温・マスクの着用・対面食事の中止・1ケア1消毒・交流事業の中止等、感染予防対策をしながらサービス提供を行いました。